

御卒業おめでとうございます！

【卒業式式辞より抜粋】

◎水泳の池江璃花子選手の、高校卒業直前から大学1年生の時のエピソード

私から卒業生の皆さんへのお祝いのメッセージとして、伝えたいことがあります。

それは、水泳の池江璃花子選手の、高校卒業直前から大学1年生の時のエピソードです。彼女は、高校2年生の夏。「アジア大会」で日本人初の6冠を達成し、2020東京オリンピックで金メダルに一番近い選手でした。しかし、その1年半後、高校3年生の2月に、血液のがんである「白血病」を発症し、公表をすることになりました。

彼女は、「神様は越えられない試練は与えない。自分に越えられない壁はない。」「焦らず、周りの方々に支えられながら戦っていきたい。」と、あきらめない、挑戦の心で病気に立ち向かう決意と共に、公表しました。

しかし、抗がん剤治療中に合併症が起こり、骨髄移植をするなど、その闘病生活は過酷で、高校の卒業式にも、出席できませんでした。のちに、池江選手は、この闘病生活の事を、「生きているのが奇跡」「人生のターニングポイントになった。」と言っています。

そして、池江選手は、入院10か月後、彼女自身の、たゆまぬ努力と、それを支えた手厚い医療サポートのおかげで、奇跡的に退院をすることができ、トレーニングを再開。

さらに4ヶ月後には、1年遅れの開催となった「東京オリンピック」代表となり、2020東京オリンピックでは、400mリレーのメンバーとして決勝に進出し、世界8位となりました。

決勝が終わり、プールサイドを歩く池江選手は、インタビュー前から号泣をしながら、言いました。「一度はあきらめかけた東京五輪だったんですが、リレーメンバーとして決勝の舞台で泳げて、すごく幸せだと思います。この数年は本当に辛かったし、人生のどん底に突き落とされて、ここまで戻るのは大変でした。2大会連続で、この舞台に戻れたことは、支えて頂いた方々のおかげですし、自分自身に、誇りをもって、これから生きていきます。」

私は、このインタビューを見て、大変感動し、今も心に「この映像」が、はっきりと残っています。このエピソードをとおして、私が、卒業生の皆さんに伝えたいことは

「この先、必ず訪れる『試練』に対して、決して、あきらめず、強い気持ちで挑戦し続けてほしい。そして、自分の周りを見て、支えてくれている人への感謝の気持ちを、自分の力にして、試練を乗り越えてほしい。」ということです。



◎飛行機の離陸から

飛行場は、その地域で一番、風の強い土地に建設されます。それは、強い向かい風が無ければ、飛行機は、離陸して、空に舞い上がることができないからだそうです。

「試練」という逆境は、まさに、飛行機のように、卒業生の皆さんが飛び立つ為の向かい風のようなものです。また、

「あきらめない強い心」は、飛行機が離陸する前の最大限の推進力であると思います。卒業生の皆さん、皆さんが未来に向け、飛び立つ為には、「試練」と、それに、

「あきらめずに挑戦する心」が、飛行機が離陸する為に必要な、向かい風と推進力のように、必要不可欠なのです。社会に旅立つ今から、「試練はチャンス」として、乗り越えてほしいと思います。

